

3類型	農林水産物、鉱工業品	通巻番号	1-29-004
地域資源名	ぶどう、ワイン	認定日	平成30年2月9日
地域	北海道余市町	所管省庁	国税庁、農林水産省、 経済産業省

事業名: 余市産のぶどうを用いた混醸によるワインの製造・販売事業

会社名: 余市のぼりんファーム

連絡先: TEL: 0135-22-1533

所在地: 北海道余市郡余市町登町1984

事業概要(地域産業資源の活用)

本事業では、北海道余市町の「余市のぼりんファーム」が、当農園で採れた余市産のワイン用ぶどうを用いたオリジナルの新たなワインを製造・販売する。

開発するワインは、自家栽培のぶどうを原料に使用し、混醸という欧州の伝統的な醸造方法の採用、野生酵母で発酵することによる複雑味、北海道の冷涼な気候を活かした上質な酸味などの特長を有する。

(混醸: 複数の品種を一緒に仕込んで発酵させる製法)

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

ピノワールなど欧州系醸造専用品種を栽培するドメヌ系のこだわりの生産者が造る日本ワインは、愛好家からの評価が高く、十分な市場ニーズが見込まれる。

(ドメヌ: ブドウ畑を所有し、ブドウの栽培、醸造、熟成、瓶詰までを自分たちで行う生産者)

◆需要の開拓の方針

商品の保冷保管技術と一定の販売顧客層を有した、日本ワインに力を入れている有力な酒販店経由でPR活動と販売を進めていく。

◆商品の特性

本事業において開発するワインの最大の強みは、野生酵母を用いた混醸製法という希少性であり、コスト等の面から、小規模ワイナリーであるからこそ製造し、消費者に供給できる商品である。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

本事業の実施に当たり、情報発信等の面で余市町及び後志総合振興局、金融や税務、専門家派遣等の面で余市商工会議所から協力を得ることとしている。



【ブドウ畑】



【ワイナリー用建物】



【開発する商品】